

プレスリリース No. 4

KYOIプロジェクト：ペコリーノ・ロマーノDOPにとっての新たな1年は、日本進出イベントが充実

日本でペコリーノ・ロマーノDOPを推進するプロジェクト「KYOI」。その1年目は成功に終わり、独特で魅力あふれる歴史を誇る2つの食文化が強く結びつく結果となりました。ペコリーノ・ロマーノDOP保護協会と欧州連合が共同で資金提供を行うこのプロジェクト。欧州産の高級チーズは、日本市場において数多くのイベントや試食会、プロモーション活動の主役を務めました。プロジェクトの目的は、欧州認定製品の品質と伝統へのこだわりが高まる日本において、ペコリーノ・ロマーノDOPに対する消費者の認知と評価を強化することです。

1年間で実施した取り組みの数々が実り、何千年もの歴史と品質の象徴であるペコリーノ・ロマーノDOPは、日本で好評を得ています。主要な活動としては、料理業界者向けのワークショップや試食会、料理人向けレッスン、研修コースなどが例に挙げられます。このようなイベントでは、日本の消費者や業界関係者が、この欧州産高級チーズの特徴を職人による生産方法から食べ方まで、魅力あふれる日本の伝統料理と組み合わせて実際に確かめました。

このプロジェクトでは、日本の卸売業者や輸入業者との関係強化にも注力。また、クオリティの高い食品を求める若い世代の間で、ペコリーノ・ロマーノDOPへの注目が高まりつつあることを踏まえ、デジタルチャネルやSNSを通じた販促活動を行いました。

「KYOIは、単なる販促プロジェクトではありません。イタリアと日本の文化をつなぐ橋であり、ペコリーノ・ロマーノDOPは、品質と伝統、革新を代表するアンバサダーの役目を担っています」と語るのは、ペコリーノ・ロマーノDOP保護協会会長のジャンニ・マオッディ氏。「卓越した食文化への情熱という共通項によって結ばれた、2つの世界が会うことで生まれる美を讃えるプロジェクトです」。

1年目は大きな達成感と共に終了しましたが、活動は今後も続きます。2025年2月には、KYOIプロジェクトの2年目がスタート。期待を寄せる新たな旅では、日本でのペコリーノ・ロマーノDOPの存在感と知名度をさらに強化する活動を行います。新たな取り組みとして、日本で活躍するシェフとの新コラボレーション、大阪で開催される2025年国際博覧会に伴う主要な食関連イベントへの参画などを予定しています。